

2018年度 事業報告



社会福祉法人
北海道いのちの電話

いのちの電話の活動基本方針

いのちの電話は

1. 自殺を思うほどに悩む人の隣人として共に考え、心の支えになることを目的としています。
2. 秘密を必ず守ります。
3. 24 時間いつでもかけられます。
4. 名前を告げる必要はありません。
5. 相談は無料です。
6. お互いの宗教や思想は尊重します。
7. 相談にあたるのは所定の研修を受けた相談員です。

沿 革

この活動は 1953 年にロンドンにおいて自殺予防を目的として始められました。世界 100 か国、1000 を超える都市で活動が続けられています。北海道いのちの電話は 1979 年 1 月 25 日に開局し、2019 年 1 月 25 日で 40 年を迎えました。

ごあいさつ

理事長 南 槇子

2018年度の北海道いのちの電話の活動に対しまして、多くの企業・団体・個人の皆様をはじめ、北海道・札幌市からご支援、ご協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。皆様からのご寄付、補助金など、2017年度よりも若干の収入減がありましたが、お陰様で所定の業務をつつがなく行うことができました。

今年は開局40周年にあたり、9月に記念式典を行う予定です。今までに活動している相談員は800人を超え、悩める方々から61万件余の相談電話を受けております。

昨年は175名の相談員で14,500件余の相談を受けましたが、実働できる相談員の平均年齢64歳と高齢化が進み減ってきており、この2、3年受ける相談は、かかってくる電話の4～5パーセントしか対応できない状況になっております。しかし2018、19年度は新聞、テレビなどで相談員減少の状況を大きく取り上げてくださった事で、養成受講生が少し増え、登録相談員が187名となり、減少傾向に歯止めをかけることができました。24時間体制維持のためにも、相談員の増加を願うばかりです。

いのちの電話の目的とする自殺予防への社会への取り組みを、昨年度も今年度も引き続き、札幌市からの委託事業「ゲートキーパー研修」、若者の自殺予防、悩みを打ち明けることの大切さを呼びかける「学校への出前事業」、チカホでのイベント「いのちミュージックデー」、自殺予防デーでの「いのちの電話番号入りのティッシュ」を札幌駅で配布など行いました。これらの活動はサポーターズが担い大活躍しています。

今後とも悩み苦しむ方々の電話をしっかりと受け続けるとともに、社会への発信も積極的に行い、自殺予防に努めてまいりますので、ご支援ご協力をお願いする次第です。

2018年度 北海道いのちの電話 概況

設立	1979年1月25日
法人認可	1983年12月23日
組織	理事10名 評議員21名 監事2名
在籍相談員数	187名(2019年3月末現在)
年間受信件数	14,556件(男6,846件 女7,710件)
相談時間	24時間(年中無休)
相談員研修	養成研修 1年目 毎週1回 2年目 毎月2回 継続研修 毎月1回
関連団体	日本いのちの電話連盟 各地いのちの電話49局

2018年度 委員会報告

研修委員会

委員長 佐々木敏明

2018年度は、175名の登録相談員によってスタートしましたが、実際に担当している相談員は平均130名から140名です。養成講座を終了した40期生の20名が新たに相談員として認定され、増員となったことは喜ばしい事ですが、依然として高齢化に伴う自身の健康問題や家族の介護などによる相談員の辞退は避けられず、やはり24時間体制を維持する事が困難になってきている実態は昨年と同様です。電話受信統計の報告でも触れていますが、受信件数が前年度を下回ったにも関わらず、自殺傾向率が増加していることから、重い内容の電話対応をしている相談員に対する支援体制や研修内容の充実を図るとともに、10代の自殺数が増加傾向にあることを踏まえ、事業推進委員会・サポーターズの協力を得て自殺予防のいのちの電話の活動をより周知するため、地域や中学・高等学校へ出前研修を実施しました。

事業推進委員会

委員長 牧 泰昌

今年度もサポーターズの協力のもと、いのちの電話の活動を広く市民に知っていただく活動を実施しました。

札幌市が主催するゲートキーパー研修受託事業の他、中学・高等学校、企業・地域へ講演を行いました。

毎年9月10日の世界自殺予防デーの日に実施している行事は、同月6日に発生した北海道胆振東部地震により実施が危ぶまれましたが、啓発ティッシュ配布を10日に、例年行っているJR札幌駅東西改札口の他、恵庭駅前、音更町で実施する事が出来ました。

また、「いのちミュージックデー (IMD)」も日程を延期し、当初予定していた演奏者の数は減りましたが、10月4日に実施することが出来ました。

支援企画委員会

委員長 坪田 伸一

市民公開講座や40周年記念を祝う行事、テーブルショップを通じて、一般の方々や相談員に向けて、いのちの電話への理解と協力と呼びかける活動を行いました。

北海道医療大学の向谷地育良教授（べてるの家創設者）を講師に、「心の危機からの回復」と題した2018年度の市民公開講座は、「浦河と札幌の仲間」と呼ぶ5人の若者と共に登壇し、11月27日に開催しました。来場した250人の市民に大きな感銘を与えたようでした。

1月26日には開局40周年記念として「感謝の集い」を行いました。理事、評議員、現役相談員、元相談員などが集い、マンドラ&マンドロネの演奏を楽しみ、手作り料理を囲み和やかなひと時を提供しました。

今年度もまた、相談員の熱い要望に応じて、手作り品を販売するテーブルショップを年末・年始に開店し、売り上げを法人収入としました。

広報委員会

委員長 吉田 陸雄

広報誌を3回発行しました。

その内容は

133号(7月)は、日本における若年層の自殺率の高さに着目し「若者の死因・自殺が50%超え1位」と題して特集しました。

134号(11月)は、2019年1月25日で開局から40年を迎えるにあたり、この号では、開局当時からこれまでの歩みと実績を掲載し、すべての方々に感謝いたしました。

135号(3月)は、11月27日(火)に札幌市中央区の札幌市教育文化会館で開催した「市民公開講座」での、北海道医療大学看護福祉学部教授で「べてるの家」の(創設者)理事、向谷地育良先生が「浦河と札幌の仲間」と呼ぶ5人の若者と登壇した内容を紹介しました。

相談員会

- ① 電話相談活動の円滑な推進とその環境作り
- ② 相談員相互の研鑽
- ③ 相談員の相互の親睦・交流

を目的に活動しております。

主なものとして、4月には39期認定者10名を交えて相談員交流会&研修会を開催し74名が参加いたしました。

相談員の情報交換の会報として「相談員だより」を10回発行いたしました。

相談員必修継続研修(172名)15グループの各代表で構成される世話人会を8回開催し、身近な問題などを話し合い、相談員会の代表、副代表が運営会議に参加して課題など共有し、相談員の円滑な活動になるよう推進いたしました。

財務委員会・倫理委員会・苦情対応委員会

今年度は開催されませんでした。

2018（平成30）年 相談電話統計

1. 受信状況

2018年（1月～12月）の受信総件数は14,556件で、昨年より862件減少しました。性別では、男性6,846件、女性7,710件で、女性からの相談が、男性からのそれを上回っています。これは昨年と同じ傾向です。

1日平均受信数は40件（前年42件）です。1件当たりの相談時間数が39.4分（前年38.4分）と長めとなっております。

通常電話での、自殺傾向総数は1,861件で、性別では男性785件、女性1,076件で、男性が増加しています。受信総件数に対する割合は12.8%と、前年の12.6%を上回っています。また、女性は男性の1.37倍で、前年の1.46倍から下回っています。

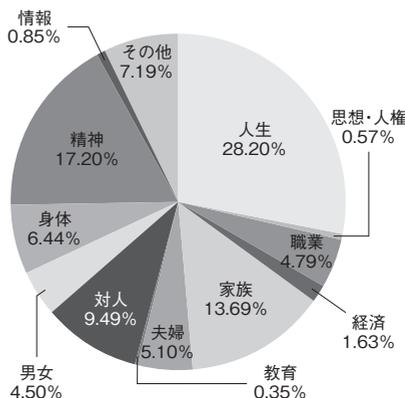
自殺予防フリーダイヤルは、毎月10日午前8時～午後9時30分（うち5月・9月・11月は24時間受信）実施し、年間12回の受信数は305件（男性151件、女性154件）でした。

2. 問題別統計

「人生」が28.2%と昨年より2.7%増加し、「生き方」「生き甲斐」などや、「孤立・孤独」を語る相談が増えている傾向にあります。

「精神」は17.1%で昨年とほぼ同じ数値で「家族の理解不足」「家族内での孤立」を語られている。「人生」「精神」の問題を抱える内、自殺傾向率がそれぞれ17.3%、20.3%と、総件数に対する割合12.8%を上回っています。

	男	女	2018 合計	2017 合計
人 生	2,081	2,024	4,105	3,888
思想・人権	33	50	83	114
職 業	354	343	697	745
経 済	108	129	237	262
家 族	636	1,356	1,992	2,026
夫 婦	287	456	743	832
教 育	27	24	51	56
対 人	409	972	1,381	1,526
男 女	292	363	655	910
身 体	537	401	938	880
精 神	1,124	1,380	2,504	2,613
情 報	68	55	123	123
そ の 他	890	157	1,047	1,273
総 計	6,846	7,710	14,556	15,248



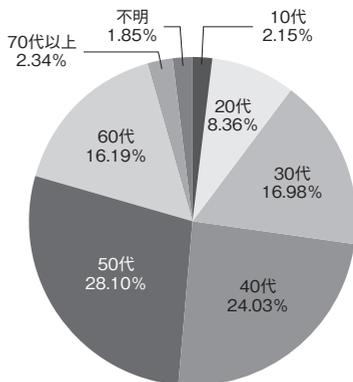
3. 年代別件数

受信総件数が昨年より 862 件減少している中で、60 代 70 代の男女ともに増加しており、ここ数年徐々に増加しています。また、60 代の問題別・人生の件数は前年よりも 80 件増加しています。これは問題別「人生」が前年より 217 件増加している件数の 37%を占めています。

年代別構成の割合では、50 代 28%、60 代 16.2%と両世代で 44.2%です。前年度と比較すると、41.9%から 2.3%増加しています。

2018 年の国内の自殺統計を見ると、10 代と 70 代以上の自殺数が増えている中、いずれの年代も受信数の総数が少ないことから、より「いのちの電話」を知らせる取り組みが必要であると考えています。

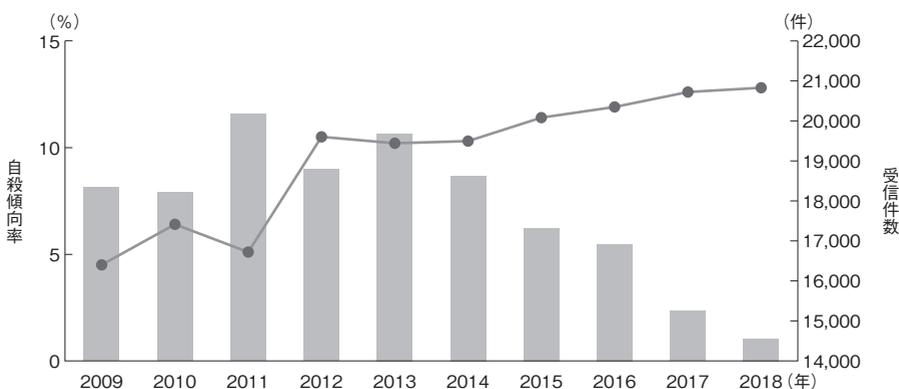
	男	女	2018 年	2017 年
9 歳以下	0	0	0	0
10 代	258	55	313	332
20 代	717	500	1,217	1,328
30 代	1,218	1,254	2,472	2,700
40 代	1,639	1,859	3,498	3,661
50 代	1,752	2,338	4,090	4,099
60 代	987	1,369	2,356	2,298
70 代以上	107	233	340	311
不 明	168	102	270	519
合 計	6,846	7,710	14,556	15,248



4. 10年間の自殺傾向率

2018年は受信総件数の12.8%と昨年より0.2%増えています。昨年と同様に、自殺傾向件数が減少している中、割合が増えています。やはり、年々より困難を抱え、深刻な訴えをされる方が増えているものと考えられます。

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
自殺傾向件数	831	1,159	1,020	1,968	2,002	1,914	1,967	2,021	1,918	1,861
総受信件数	18,336	18,220	20,176	18,787	19,679	18,625	17,319	16,916	15,248	14,556
自殺傾向率(%)	4.5%	6.4%	5.1%	10.5%	10.2%	10.3%	11.4%	11.9%	12.6%	12.8%



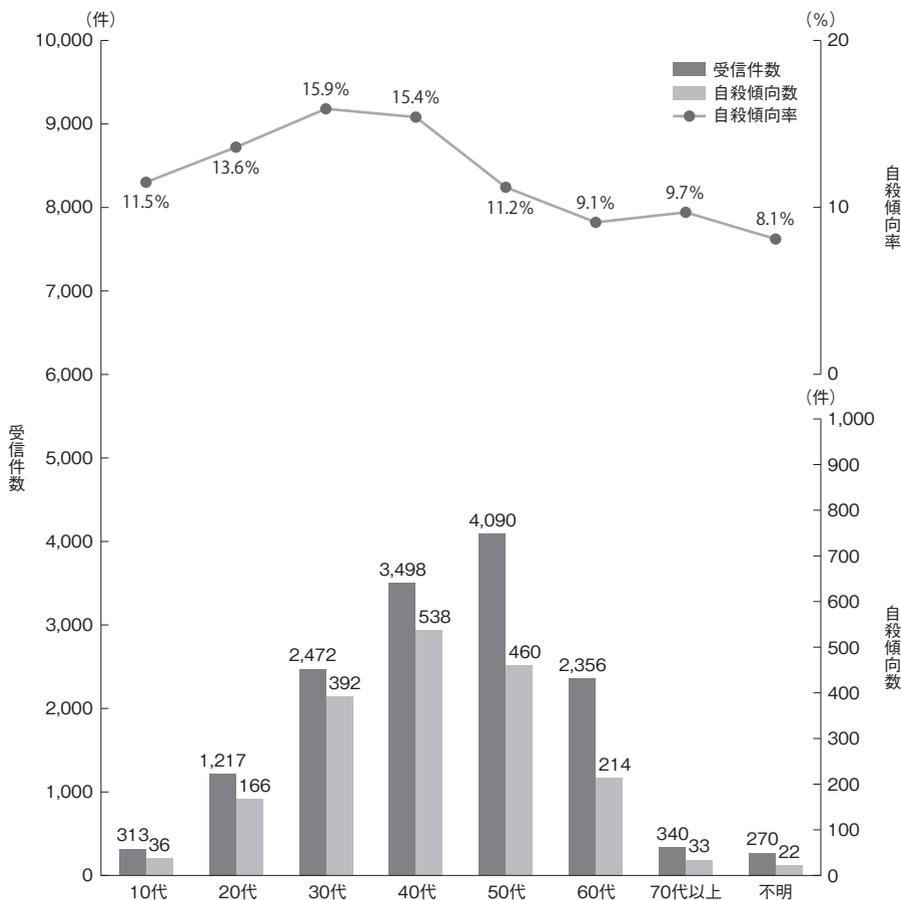
5. 年代別受信件数と自殺傾向率

自殺傾向率は、2018年は10代11.5%、20代13.6%、50代11.2%、60代9%で前年を下回っていますが、30代15.9% (+0.2)、40代15.4% (+1.8)、70代9.7% (+4)が増加しています。

また、自殺傾向率ありのうちで、自殺未遂歴ありの割合が全体で30%と前年の35%から減少しています。

ただ、10～70代以上の各年代が20%以上あり、自殺未遂歴のある方の自殺率が高いことから、意識をもって傾聴していくことが大切であると考えております。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
受信件数	313	1,217	2,472	3,498	4,090	2,356	340	270	14,556
自殺傾向数	36	166	392	538	460	214	33	22	1,861
自殺傾向率 (%)	11.5%	13.6%	15.9%	15.4%	11.2%	9.1%	9.7%	8.1%	12.8%
自殺傾向率(前年)	13.3%	15.3%	15.7%	13.7%	11.7%	9.1%	5.9%	8.1%	11.9%
傾向のうち未遂歴あり(件数)	7	42	136	162	150	44	10	5	556
傾向ありのうち未遂歴ありの割合	19.4%	25.3%	34.7%	30.1%	32.6%	20.6%	30.3%	22.7%	29.9%



2018年度 収支決算書 (2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	2017年度	2018年度	前年比	備考
寄付金	13,007,379	12,374,324	95%	個人・企業・団体・募金箱
補助金	5,373,000	2,900,000	54%	北海道・札幌市
分配金	1,010,000	940,000	93%	北海道共同募金会
助成金	401,000	742,000	185%	道新基金・道信金財団・札幌馬主協会
養成研修参加費	743,500	792,500	107%	
その他	103,336	52,617	51%	金利他
収益事業会計繰入金	1,216,048	1,520,158	125%	コンサート事業収益金
収入合計	21,854,263	19,321,599	88%	

支出の部

(単位：円)

科目	2017年度	2018年度	前年比	備考
相談事業合計	5,441,101	4,620,722	85%	
事業管理費	1,427,941	971,090	68%	家賃、備品レンタル費他
養成研修費	1,588,510	1,536,345	97%	養成研修講師謝礼他
継続研修費	1,623,261	1,362,809	84%	相談員研修講師謝礼他
研究調査費	49,501	90,560	183%	旭川ののちの電話情報交換会費用他
広報費	706,128	628,498	89%	印刷費、発送費他
支援企画費	45,760	31,420	69%	
センター管理費合計	14,455,043	11,979,307	83%	
管理費	2,959,475	3,017,111	102%	家賃、水道光熱費、備品レンタル費他
事務費	1,161,800	756,917	65%	通信費他事務局諸費用
事業推進費	2,272,229	2,246,987	99%	分室家賃、分室運営経費他
人件費	8,061,539	5,958,292	74%	事務局員給与他
減価償却費	629,119	920,068	146%	
40周年記念事業費		1,401,322		
ゲートキーパー研修補助事業費	1,000,000	1,180		
連盟負担金	329,000	399,000	121%	日本ののちの電話連盟
支出合計	21,854,263	19,321,599	88%	
収支差額	0	0		

2018年度 貸借対照表 (2019年3月31日現在)

借方

(単位:円) 貸方

(単位:円)

勘定科目	当年度末	前年度末	勘定科目	当年度末	前年度末
流動資産	9,753,815	7,999,833	流動負債	566,500	395,309
現金	22,309	24,172	未払金	157,412	41,895
普通預金	2,826,606	1,992,804	未払費用	82,900	
振替口座	791,477	557,868	預り金	129,188	156,414
前払費用	82,800	79,800	期末手当引当金	129,188	156,414
未収金	278,708	260,000	固定負債	1,989,700	1,026,443
立替金	5,751,915	5,085,189	退職給与引当金	1,989,700	1,026,443
固定資産	23,291,162	23,472,631			
(1) 基本財産	16,220,800	16,220,800	基本金	16,220,800	16,220,800
電話加入権	220,800	220,800	基本金	16,220,800	16,220,800
定期預金	16,000,000	16,000,000			
(2) その他の固定資産	7,070,362	7,251,831			
什器備品	2,449,822	2,605,731	基本財産積立金		
建物付属設備	120,540	146,100	40周年記念事業引当金	1,401,322	
定期預金	4,500,000	4,500,000	事業運営積立金	12,866,655	4,000,000
			繰越金	0	9,829,912
			前期繰越金	0	9,829,912
			当期収支差額	0	0
			純資産合計	30,488,777	30,050,712
資産合計	33,044,977	31,472,464	負債及び純資産合計	33,044,977	31,472,464

2018年度 監査報告

社会福祉法人 北海道いのちの電話 理事長 南 楨子 殿

2018年度の一般会計と特別会計の会計収支について記録計算に相違なく、また、業務執行状況は定款、諸規程に照らし適正に運営されていることを確認した。

監査日時 2019年4月24日

監査場所 北海道いのちの電話会議室 監事

佐藤 正晴 

監事 小野 寺 満 

2019年度 事業計画

法人基本方針	運営環境の変化に対応する柔軟な組織体質の構築 40周年記念行事の実施
研修委員会	養成研修及び継続研修の体制・内容の検討整備
事業推進委員会	イベント活動の充実化、若年層・地域・企業団体への「いのちの電話」 周知、ゲートキーパー研修の支援
広報委員会	年3回の広報誌発行による法人活動の周知
支援企画委員会	市民公開講座の実施サポート

2019年度 収支予算案

収入の部

(単位：円)

科目	2018年度実績	2019年度予算	前年比	備考
寄付金	12,374,324	12,110,000	98%	個人・企業・団体・募金箱
補助金	2,900,000	2,900,000	100%	北海道・札幌市
分配金	940,000	1,100,000	117%	北海道共同募金会
助成金	742,000	300,000	40%	道新基金・北海道信金ひまわり財団
養成研修参加費	792,500	680,000	86%	
その他	52,617	100,000	190%	金利他
収益事業会計繰入金	1,520,158	1,210,000	80%	コンサート事業収益金
収入合計	19,321,599	18,400,000	95%	

支出の部

(単位：円)

科目	2018年度実績	2019年度予算	前年比	備考
相談事業合計	4,620,722	5,420,000	117%	
事業管理費	971,090	1,400,000	144%	家賃、備品レンタル費他
養成研修費	1,536,345	1,250,000	81%	養成研修講師謝礼他
継続研修費	1,362,809	1,790,000	131%	相談員研修講師謝礼他
研究調査費	90,560	30,000	33%	旭川いのちの電話情報交換会費用他
広報費	628,498	890,000	142%	印刷費、発送費他
支援企画費	31,420	60,000	191%	バザー経費
センター管理費合計	11,979,307	12,290,000	103%	
管理費	3,017,111	2,850,000	94%	家賃、水道光熱費、備品レンタル費他
事務費	756,917	820,000	108%	通信費他事務局諸費用
事業推進費	2,246,987	2,320,000	103%	分室家賃、分室運営経費他
人件費	5,958,292	6,300,000	106%	事務局員給与他
減価償却費	920,068	300,000	33%	
40周年記念事業費	1,401,322	0		
ゲートキーパー研修補助事業費	1,180	0		
連盟負担金	399,000	300,000	75%	日本いのちの電話連盟
支出合計	19,321,599	18,310,000	95%	
収支差額	0	90,000		

役員名簿

理事：2017年5月27日～2019年度定時評議員会終結の時まで

評議員：2017年6月1日～2021年度定時評議員会終結の時まで

理事長	南 禎子				
常務理事	高杉 純二				
理事	池田 輝明	佐々木敏明	島津 宏興	嶋津 博	
	坪田 伸一	牧 泰昌	宮崎 善昭	吉田 陸雄	
監事	佐藤 正晴	小野寺 満			
評議員	上村 英生	池田 光幸	板垣 昭彦	伊藤 雅彦	
	今井 啓二	大町 真也	岡崎 大介	荒木 敏安	
	小谷 和雄	今野 渉	榊原 綾子	返町 賢治	
	高橋 義人	奥山 徹	福迫尚一郎	棒田 敬二	
	水野 匡勝	森田 健児	中原 准一	佐藤 國彦	
	米倉美佐男				

組織図

